

実施計画事業名		広域観光振興事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		建設産業部 観光交流課		課長(主幹)名	渡辺 久仁人			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信					
	施策	1	観光を核とした産業振興を図ります					
	関連施策							
現状と課題	道路等の整備が進んだこともあり、広域観光のニーズが高まっているが、これに対応した広域的な観光ルートの整備や旅行者にとって快適で楽しみながら移動できる施策を推進し、旅行者の満足度を高めていく必要がある。稚内は、日本海オロロンラインとオホーツクラインの2つの観光ルートの結節点であり、過去には共同でルート形成に取り組んだことがあるが、今一度ルートの価値を見直す必要がある。							
目的	広域観光ルートの充実を図り、観光客受入体制の強化、入込みの増大を図る。							
5ヶ年展開の	①北海道の各市町村との協議会活動への参加と広域観光ルートの形成 ②宗谷圏での共同事業の展開 ③観光情報の共有化の促進							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	観光客入込数		人	目標	641,000	647,000	665,000	
説明	本市を訪れた観光客の入込数(延べ)			実績	530,000	501,200		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	他の市町村との連携により取り組んだ事業の数		事業	目標	4	4	4	
	説明		広域観光アドバイザー事業で実施した事業の数		実績	3	8	
	広域観光振興のための組織形成数		団体	目標	3	4	6	
	説明		他の市町村と広域観光振興のために組織する協議会等の数		実績	3	4	
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	5,396	6,421	7,087		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	5,396	6,421	7,087		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.80	0.53	0.53		
人件費(B)		千円	5,541	3,599	3,599			
計(A+B)		千円	10,937	10,020	10,686			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 6月の結果が昨年を大きく下回っている。要因として5月に九州方面で発生した家畜伝染病により、利尻・礼文へのツアー催行が減少したことが大きいと考えられる。冬季観光客は2月の稚内～東京便が欠航が無かったことで増加傾向となったが、3月中旬以降は、東日本大震災の影響等からツアー催行の中止等の影響が見られた。
	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 広域観光連携の内容の充実に努める必要がある。
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要 <A～C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 「圏域観光の推進」を取組の一つとして掲げた「宗谷定住自立圏」の形成について、平成22年1月に宗谷管内9町村と協定を締結した。今後はこれを機に、これまで取り組んできた共同宣伝事業などをさらに拡充しながら、圏域町村の資源も活用しながら滞在型観光地の実現を目指していく。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 定住自立圏共生ビジョンに掲載されている事業について、関係町村と連携を図りながら取り進めていくこと。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--